



『オレ、カエルやめるや』

デヴ・ペティ/ぶん マイク・ボルト/え  
こばやし けんたろう/やく (マイクロマガジン社)



カエルであることがイヤなカエル。ぬれてるし、ヌルヌルしてるし、ムシばかり食べてるし。それよりも、もっとかわいくて、フサフサの動物になりたいのです…。読み聞かせが楽しいユーモア絵本。

『この計画はひみつです』

ジョナ・ウィンター/文 ジャネット・ウィンター/絵  
さくま ゆみこ/訳 (鈴木出版)



ニューメキシコの砂漠の名もない町に、科学者たちがやってきました。ひみつの計画のために、政府にやとわれた科学者たちです。そして砂漠で、最初の核実験が行われて…。アメリカで 原子爆弾がつくられるまでを描いた絵本。

『ねこのゴンサ』

石倉 欣二/作・絵 (ポプラ社)



ぼくの大好きなじいちゃんが行ってしまった。団地の向こうにできた「ことぶきえん」に入るんだって。もう一度、じいちゃんに会いたい。ねこのゴンサは、じいちゃんのいる施設を目指して、初めての道を歩き出しましたが…。

『もしも日本人がみんな米つぶだったら』

山口 タオ/文 津川 シンスケ/絵 (講談社)



いつも食べているごはん。お茶わん1杯にお米が何粒入っているか、考えたことがあるかな? もし米つぶ1粒が人間ひとりだとすると…?お米の国から来た米殿さまが教えてくれる、大きな数を実感する秘伝・米つぶ換算術。

『オレはどうくつ探検家』

吉田 勝次/著 (ポプラ社)



洞窟は、地球が何億年もかけてつくった芸術作品。水の中をもぐったり、狭い通路を這ったりして進んでいった先に待っていたのは、息をのむほどの美しい地底空間で…。洞窟探検の様子がわかる写真絵本。

『クジラのおなかからプラスチック』

保坂 直紀/著 (旬報社)



このままでは2050年に海の魚の重量を上回るともいわれているプラスチックごみ。その実態は? 人体への影響は? 日本はどう動いているのか? 海洋プラスチックごみ問題の最前線を伝える。

『アヤカシ薬局閉店セール』

伊藤 充子/作 いづの かじ/絵 (借成社)



近くにできたドラッグストアのせいで、お客がなくなったアカシヤ薬局。店主のさくらさんが閉店セールをしようと、店のおもてに張り紙をすると、なんと、古道具屋で買った招き猫が「宣伝がたりない」と言い出して…。

『しずかな魔女』

市川 朔久子/作 (岩崎書店)



「しずかな子は、魔女に向いている」という文章の出てる本を探しています。不登校の草子は 毎日を過ごす図書館で、はじめてレファレンスを希望した。やがて司書の深津さんから手渡されたものは…。



『トクベツな日』

白矢 三恵/作 スカイエマ/絵 (PHP研究所)



二葉、真央、達也、勝は、それぞれ人に言えない悩みをもつ5年生。一人暮らしのお年寄りを学校に招いていっしょに給食を食べる学年行事「もみじ給食」を機に、反発、葛藤の末、希望が持てるように…。

『ぼくは本を読んでいる。』

ひこ・田中/著 (講談社)



どうしてだかぼくは、それを親に隠れてこっそり読みたくなった。本好きじゃなくても読書はできる! 「別に本が好きでもない」男子・ルカがひたすら読書する、ありそうでなかった物語。

『耳の中のアブ』

ただの ゆみこ/作 菅野 由貴子/絵 (国土社)



「アブ」が来てから、キリコのまわりでは不思議なことが起きる。「それはキリコの心耳袋が閉じているから。キライな人の心に入れば元に戻れる」と、アブはささやくのだが…。アブがいざなう言霊ワールド。

『落語ねこ』

赤羽 じゅんこ/作 大島 妙子/絵 (文溪堂)



「心のこり」から成仏しそびれ、飼い猫にとりついた落語家の幽霊。でも「心のこり」を忘れてしまったから、ややこしい。その猫をおじいちゃんからあずかった、小5の七海は…。ドジな落語家と少女との笑い涙の物語。

『わたしたちの家は、ちょっとへんです』

岡田 依世子/作 ウラモト ユウコ/絵 (偕成社)



あたしたち、ちゃんとした大人になれるのかな。世の中で「普通」とされている家とはひと味がう、「ちょっとへんな家」で育つ3人が、日々の悩みや不満や不安にぶつかりつつ、自分の居場所をつくっていく姿をえがく。

『孤島のドラゴン』

レベッカ・ラップ/著 鏡 哲生/訳 (評論社)



ハナ、ザカリー、サラ・エミリーの3人きょうだいは夏休みを、沖合の孤島に建つ家で過ごすことになった。ある日、3人は「ドレイクの丘」と呼ばれる岩山に探検に出かけた。てっぺんにたどり着いて、3人が見つけたものは…。

『モノ・ジョーンズとからくり本屋』

シルヴィア・ビショップ/作 平澤 朋子/絵  
三辺 律子/訳 (フレーベル館)



ロンドンにあるからくり本屋こと、〈モンゴメリー本の王国〉。そこには、からくりだけではない、もうひとつの秘密があった。知らずにその書店を引き継いだジョーンズ一家の女の子モノにもまた、家族にいえない秘密があった…。

貸し出し中の本は  
予約も出来ます。  
詳しくは職員に  
お尋ねください。

